

令和6年度 高羽越 高速化本線 シンポジウム



羽越線電化開通祝賀列車
いなほ2号 秋田駅(1972年10月)



C57客車列車
吹浦～小砂川(1970年7月)



あけぼの 下浜(2008年5月)

羽越本線全線開通100周年、
次の100年に向けて踏み出す一歩

令和6年

日時

10月17日(木)

13:30～15:30 受付開始 12:30～

会場

ホテルアイリス 菖蒲の間

由利本荘市肴町5番地 TEL0184-24-5115



●お問い合わせ (お近くの事務局へ)

羽越新幹線整備促進秋田地区期成同盟会 事務局 (由利本荘市企画振興部総合政策課) TEL.0184-24-6226 FAX.0184-23-1322
羽越本線高速化・新幹線整備促進新潟地区同盟会 事務局 (新潟市都市政策部都市交通政策課) TEL.025-226-2723 FAX.025-229-5150
山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会 事務局 (庄内開発協議会内) TEL.0235-66-5689 FAX.0235-66-3199

●主催：羽越新幹線整備促進秋田地区期成同盟会 (会長：由利本荘市長)
羽越本線高速化・新幹線整備促進新潟地区同盟会 (会長：新潟市長)
山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会 (会長：鶴岡市長)
●後援：秋田県、新潟県、山形県、東北日本海沿岸市町村議会協議会
東日本旅客鉄道株式会社秋田支社・新潟支社

【プログラム使用写真提供】鉄道カメラマン 佐藤和博氏 (秋田市)

令和6年度 羽越本線高速化シンポジウム

羽越本線全線開通100周年、次の100年に向けて踏み出す一歩

本年、羽越本線が全線開通して100周年の節目を迎えました。これまでの100年の歩みを振り返りながら、次の100年に向け、課題や必要性、展望について考え情報を共有することで、沿線地域の一層の連携強化、機運醸成を図ります。

開 会 13:30～

基調講演 13:50～14:45

『世界から見た羽越本線 地政学的な価値と夢』
日本鉄道マーケティング代表 山田 和昭 氏

意見発表 14:45～15:15

秋田地区、新潟地区、庄内地区の代表3名の意見発表

特別スピーチ 15:15～15:20

鉄道カメラマン 佐藤 和博 氏

閉 会 15:20～

基調講演：世界から見た羽越本線 地政学的な価値と夢



講師 日本鉄道マーケティング代表 山田 和昭 氏

IT業界でマーケティング・販売企画に25年携わり鉄道業に転身。2012年8月より由利高原鉄道ITアドバイザーとして、ネットマーケティング、商品企画などを行い、業績改善に貢献。2014年若桜鉄道社長としてSL走行社会実験では沿線人口の7割相当を動員し鉄道を地域の観光軸とし経営改善を進めた。2021年近江鉄道構造改革推進部部長に就任。沿線住民など3万8千人を動員した無料デイ・沿線連携イベントを推進。2024年より日本鉄道マーケティングを再開。

講演内容

ここ30年間で、神戸港のコンテナ取扱量は世界5位から72位に転落し、世界の幹線から日本は外れた。羽越本線は北海道と西日本を結ぶ短絡路であり、物流の大動脈として国内に大きな存在感を持つ。欧亚航路、太平洋航路、中欧班列、シベリアランドブリッジなどの大幹線が津軽海峡周辺に集中している。もし世界の大幹線と羽越本線が結ばれると、日本が変わる。世界から見た羽越本線について考えます。



羽越本線の高速化並びに新幹線整備を実現するため、利便性の向上と羽越本線沿線が本来持っている魅力を再発見・再構築することで、鉄道利用者の増加を促進するとともに、秋田・新潟・庄内の3地区同盟会の連携強化を図ります。

意見発表



株式会社ロンド 専務取締役 福井 将理 氏 秋田地区

横浜市出身。芝浦工業大学大学院に在学中、空間・企画デザイン事務所を立ち上げ、秋田県にかほ市のインキュベーション施設「わくばにかほ」およびワーケーション施設「新産業支援センターしまのま」を設計。卒業後、株式会社新居千秋都市設計に所属し、劇場や図書館、小学校などの公共建築を中心に建築意匠設計に従事。2024年2月より一般社団法人ロンドに参画。同年5月に株式会社ロンドを設立し、専務取締役に就任。多角的な視点からまちづくりに取り組む。



株式会社新潟家守舎 代表取締役 小林 紘大 氏 新潟地区

新潟市生まれ。新潟市の工務店で住宅設計の仕事をしながらグリーンホーム新潟への入居を機にコミュニティーマネージャー活動を開始。新潟県内でリノベーションまちづくりに積極的に取り組んでいる。2020年11月に遊休不動産活用をテーマとした株式会社新潟家守舎を設立。「じぶんのまちを、じぶんのことに。」をモットーに、場づくりに関して、建築というハードと、暮らしのコンテンツというソフト、両面から手がけている。



GOOD LIFE ISLAND合同会社 代表 本間 当 氏 庄内地区

2013年離島「飛島」で合同会社とびしまを設立。酒田港と飛島の誘客促進・賑わい創出を目的に2021年GOOD LIFE ISLAND合同会社を地元企業と共同出資で設立。2022年酒田本港の東ふ頭交流施設「SAKATANTO」の運営開始。さらなる酒田港の魅力向上を目指し、SAKATANTOの隣接エリアに9月「SAKATANTO CONTAINER HOTEL CAMPS」(サカタントコンテナホテルキャンプ)を開業。酒田の魅力は「酒田港」からを目指し取り組んでいる。

特別スピーチ



鉄道カメラマン 佐藤 和博 氏

由利本荘市矢島生まれ。NPO全国鉄道利用者会議会員、由利高原鉄道応援大使、秋田内陸線サポーター(第一号登録)、(株)ジェイアール東日本企画オフィシャルカメラマン。子どものころ、祖母に手をひかれて矢島駅に汽車を見に行ったことから鉄道に傾注。消えゆく蒸気機関車を追って写真を撮る。鉄道撮影の傍ら、秋田市・由利本荘市・男鹿市を中心に、企業経営者層向けセミナーや、講演会の講師を務める。2024年 JR羽越本線全通100周年記念写真集「羽越本線」を出版。